

第151回HSE (Health care Sales Engineer) セミナー開催のご案内

10年以上続く、薬局経営に特化した情報を発信

HSEセミナーは2010年1月に開始し、これまで100回以上、200名を超える講師をお呼びしてきました。調剤報酬だけではなく、規制緩和、他業種の参入と薬局を取巻く環境は大きく変化しています。変化をいち早く察知し、対応することが求められます。薬局経営には「医療・介護・小売業」という視点が必要になります。HSEセミナーでは業界に精通した講師はもちろん、小売業の側面から薬局に必要な知識を他業種からも講師をお呼びしています。

全国から集まる仲間たちとこれからの薬局経営を一緒に考えてみませんか。群雄割拠な時代を迎えた薬局業界。情報こそが平等に与えられた経営資源です。

第151回(2024年8月開催)のコンセプト

これから日本が迎える「超々高齢社会」「多死社会」に向けた医療システムの構築が求められています。一説では2040年の要介護者は900万人、認知症患者は700万人というデータも出ています。8月のHSEセミナーは「これから」に視線を向けて講師をお呼びいたしました。1講義目には「認知症」をテーマに認知症医療の権威であり日本認知症学会の理事を務める講師より、日本の現状とこれからの踏まえた薬局への期待を聞いてみます。2講義目には、薬局での管理栄養士の雇用が拡大する中、「算定できる報酬がない」という大きな課題が挙げられています。今回、厚生労働省で介護報酬を担当する「老健局」より講師をお呼びし、日本が進めている栄養政策と管理栄養士への期待についてお話を伺います。そして「薬局管理栄養士」の報酬算定は可能となるのか。その本質を伺います。3講義目には、薬剤師需給問題、薬学部過剰問題など教育に関するトピックスが上がってくる中、教育現場の視点から、「これからの薬剤師」についてお話を伺ってみたいと思います。

講師①

「日本における認知症の現状とこれから～薬局への期待～」
岩田 淳 氏 (東京健康長寿医療センター 副院長)

講師②

「栄養政策と地域における管理栄養士への期待」
増田 利隆 氏 (厚生労働省老健局老人保健課 介護予防調整官)

講師③

「6年生薬学教育と薬剤師への期待」
渡部 一宏 氏 (学校法人昭和薬科大学 理事長・教授)

※1講義目と2講義目の順番が入り替わることがあります。講演内容裏面をご確認くださいませ⇒

詳細

開催日：2024年8月23日(金) 13:00～17:00
24日(土) 10:00～12:00 ※2日間のセミナーです

場 所：ビジョンセンター田町「405」(東京都港区芝5-31-19 ラウンドクロス田町2F)
JR田町駅または地下鉄「三田駅」ちかく

参加費：50,000円(消費税別)/名 (同一法人の場合、お二人目から25,000円)

※お申し込み後のキャンセル、返金にはご対応できませんのでご確認の上お申し込みくださいませ

お問合せ

株式会社Kaeマネジメント

東京都台東区浅草橋3-1-1TJビル3F

TEL：03-5829-6659 mail：seminar[@]kae-management.com

■ 岩田 淳 氏 (東京健康長寿医療センター 副院長 / 日本認知症学会 理事)

2024年1月に「認知症基本法」が施行され、認知症施策が本格化していきます。本年度改定では医療・介護同時改定ということもあり、何かしらの要求が薬局業界にも表れるのではと予想していた方も多かったと思いますが、認知症に関する報酬の設定は見送りとなっています。新薬や早期発見に向けた研究が進んでいますが、現時点で根本的な治療薬は開発されておらず、今後世界で高齢化が進む中で、認知症とどう向き合い対応していくのかが求められています。地域のゲートキーパーとして薬局に求められる機能も必然的に増えてきます。改めて認知症の現状と未来を把握し、薬局として何に取り組むことができるのかを考えていきます。

■ 増田 利隆 氏 (厚生労働省老健局老人保健課 介護予防調整官)

本年度介護報酬改定の議題に上がった「薬局管理栄養士」の報酬算定ですが、議論の結果、時期尚早として従来通りの形に着地しました。薬局管理栄養士の雇用が拡大する中で、報酬算定は大きな課題として挙げられています。一方で地域における管理栄養士の期待は大きく、過去数回の改定において算定できる報酬は拡大しています。今回、介護報酬(栄養)を担当する厚生労働省担当官をお呼びし、国の進める栄養政策や管理栄養士への期待を直接聞いてみたいと思います。後半部分はディスカッション形式としてお互いに思う課題や現状などについて意見交換をしたいと思います。栄養関係に強みを持つ「Kae」だからこそ実現した特別企画となります。

■ 渡部 一宏 氏 (学校法人昭和薬科大学 理事長・教授)

薬学部が6年制に移行し約10年が経ちます。効果が見えてきた一方で課題も散見されています。行政における会議でも、薬学部の乱立や定員に関する問題、国家試験合格率などが議題として上がるようになってきました。これから迎える「超々高齢化社会」の中で、地域医療職・介護職の活躍が一層求められます。そのような現状に対し、教育現場から見る6年制薬剤師とこれからの未来についてどのように考えているのかを聞いてみたいと思います。またコアカリキュラムの変更を受けて、受け手となる企業も価値観を変えていく必要があるのではないのでしょうか。

HPからのお申込み

お申込みはHPから、またはFAXでお受けしております。WEBからのお申込みは右記QRコードを読み込んで頂くか、当社HPからお願いいたします。



FAXでのお申込みは、以下の必要事項を記載しFAX送付して頂きますようお願いいたします。

FAXでのお申込み 03-5829-6679

氏名	
貴社名	
ご住所	〒
電話番号	
E-mail	
懇親会	参加 ・ 不参加

(終了後近隣のお店で開催
会費5000円程度)

※お申し込み後ご請求書を送付いたします。